

8月25日のウクライナ情報

安齋育郎

●ウクライナ軍司令官、動員兵を銃殺か＝情報筋(2023年8月22日)

ウクライナ軍の司令官が、ロシア軍との戦闘に恐れをなした自国の動員兵を銃殺したと、事情に詳しい情報筋がスプートニクに明らかにした。情報筋はウクライナ軍兵士の携帯電話に残っていた映像とともに説明した。

ハリコフ州のクピャンスク周辺での戦闘で、ウクライナ軍の1分隊が壊滅した。だが、なかには背中と脇腹にかけて傷があり、自軍の後方陣地に向かって倒れていた遺体もあった。

別の兵士のポケットから見つかった携帯電話には、1人のウクライナ兵が自軍の上官が放ったとみられる弾丸から逃げ惑う様子を捉えた映像が見つかった。この兵士は動員兵だったという。



https://videon.img.ria.ru/Out/Flv/20230822/2023_08_22_Kupyanskxrasstrel_4_elxus1p.vyr.mp4



●2023.8.22BRICS 首脳会議 直前情報：新通貨はどうか【及川幸久 -BREAKING-】

BRICS 首脳会議 直前情報：新通貨はどうかについて YouTube で解説しました：

BRICS 通貨がドル覇権を揺るがすとして大注目。ところが、BRICS5 カ国は、脱ドルには慎重な姿勢で、事前協議担当者たちはすでにオフレコで、今回は新通貨の公式発表は行わない言っているという情報もある。

新通貨の前に、R5 という、BRICS の新しい共通決済システムを作ろうとしている。BRICS5 カ国の通貨はすべて R で始まる。中国の Renminbi(人民元)、ロシアの Ruble、ブラジルの Real、インドの Rupee、南アフリカの Rand。R5 という決済システムによって BRICS は米ドルを回避して相互貿易を拡大、米ドル準備高を減らすことを目指す。

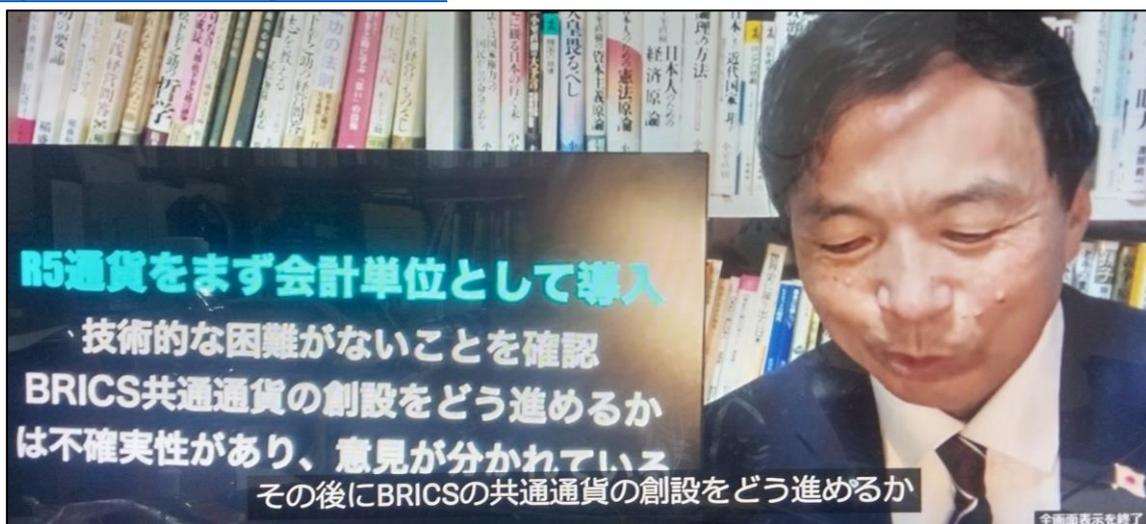
R5 が技術的な困難がないことを確認して、次に、BRICS 共通通貨の創設をどう進めるか。これは不確実性があり、意見が分かれているらしい。特に、BRICS 新開発銀行(NDB)の役割拡大について。NDB はまだ BRICS の中央銀行になっていない。

今回のサミットで BRICS+へ早急な加盟を希望している国がたくさんある。その中の最右翼が、イラン。イランはすでにロシアと中国との戦略的パートナーになっている。そして、国際南北輸送回廊(INSTC)のインドの重要なパートナーになる。

国際南北輸送回廊 INSTC とは、インド-ロシア間の貿易がインドからスエズ運河を通して、地中海から欧州を回っていたのを、イランの陸路を通すことで、南のインドから北のロシアに一直線につながるルート。スエズ運河ルートと比べ、輸送コストは約 50%削減、移動日数は最大 20 日短縮。ロシアは INSTC に 2030 年まで 30 億ドル以上投資する。

イランは、ロシア、中国、インドという BRICS 主要国との特権的な関係を持っているので、BRICS+の主要メンバーになろうとしている。

<https://youtu.be/Z8YgF324Sc0>



●ロシア戦闘機、ウクライナ偵察艇を撃破 黒海ガス採掘施設の周辺で(2023年8月22日)

黒海海上の天然ガス採掘施設の周辺で 22 日未明(日本時間同日午前)、ロシア軍の戦闘機「Su30SM」がウクライナの偵察艇を発見し、撃破した。露国防省が発表した。

また、同日午前 11 時(日本時間同日午後 5 時)ごろには、ウクライナ・オデッサ州沖の蛇島(ズメイヌイ島)周辺でも、ロシア空軍の航空機がウクライナの揚陸部隊を乗せた高速ゴムボートを撃破した。このゴムボートは米ウィラード社製の「シーフォース」だった。

先週にはクリミア半島の南西 237 キロの海域で、ウクライナの無人偵察艇が露軍艦船 2 隻に攻撃を試み、撃破される事案も発生している。

また、国防省は 22 日未明に首都郊外のモスクワ州上空でウクライナのドローン 2 機を撃墜したと発表。西部のブリャンスク州にも 2 機のドローンが飛来したが、電子戦システムによる対応で墜落した。いずれもけが人はなかったとしている。



●ウクライナ軍事支援 額別、GDP 割合別ではどこが最大か(2023 年 8 月 22 日)

最大のウクライナ向け軍事支援を行っているのは西側の大国であるものの、最も大きな自己犠牲を払ってキエフを支援しているのは、実はバルト諸国である。サウスチャイナモーニングポスト紙がこうした記事を著している。

「もちろん米国はウクライナ向け兵器のサプライヤーでは最大で 428 億ユーロ(6 兆 8200 億円)を費やしている。それに続くのがドイツの 75 億ユーロ(1 兆 1950 億円)、英国の 66 億ユーロ(1 兆 5166 億円)だ」サウスチャイナモーニングポスト紙はキール世界経済研究所のデータを引用してこう報じている。

ところがキエフへの支援額を GDP に占める割合から見た場合、首位に立つのはエストニア、ラトビア、リトアニアである事実が記事には強調されている。

これより前、米国のメディアはウクライナが西側の同盟国から供与された戦闘車両を大量に失っており、中でも最も多く破壊されているのが米国製の歩兵戦闘車「ブラッドレー」だと報じている。



●BRICS の協力関係は同権、パートナー支援の原則に基づく＝プーチン大統領 (2023年8月23日)

プーチン大統領は、BRICS 諸国は同権とパートナー支援の原則で協力しあっており、ロシアとパートナー諸国との貿易高は 2300 億ドル(33 兆 5200 億円以上)を超えたと指摘した。プーチン大統領のこの声明は BRICS ビジネスフォーラムの閉会式で表されたもの。

プーチン大統領は、BRICS 諸国は市場のポラリティや一連の国の無責任な行動によって引き起こされているインフレの圧力を背景に、複雑に絡み合う課題の解決をせまられてると語った。

プーチン大統領は、世界の GDP に占める BRICS 諸国の割合はほぼ 26%に達したと指摘し、「購買力平価では『5 か国』(編集:BRICS)は G7 を上回っている」と述べている。

プーチン大統領は、このフォーラムの焦点は依然として、パンデミック後の BRICS 経済の回復の確保、市民福祉の向上、産業の近代化、効率的な輸送・物流チェーンの構築、公正な技術移転の推進に当てられていると強調した。

プーチン大統領はさらに、BRICS 諸国間の決済では不可逆的に脱ドル化が進んでいる事実を指摘した。

「我々の経済関係では脱ドルという客観的かつ不可逆的なプロセスは勢いを増しており、相互決済や通貨金融管理のための効果的なメカニズムの構築に尽力が傾けられている。その結果、BRICS の輸出入取引に占めるドルの割合は減少しており、昨年(2022 年)はわずか 28.7%にとどまっている」

プーチン大統領はまた、パートナーらがロシア側に対する義務が果たすのであれば、ロシアは穀物合意に復帰する用意があると述べ、現在ロシアは、穀物と肥料の供給を意図的に妨害され、国際市場に困難をもたらしたと偽善的に非難されていると指摘した。

プーチン大統領は、ロシアの 2022 年のアフリカ向け穀物輸出量は制裁にもかかわらず、1150 万トンで、2023 年上半期ではすでにほぼ 1500 万トンに達していると指摘している。

プーチン大統領はまた、穀物の無償供給についてアフリカのパートナーらとの交渉がまとまりつつあることに注意を喚起した。

プーチン大統領は演説を締めくくるにあたって、BRICS ビジネスフォーラムの参加者に対し、9 月 10 日からウラジオストクで開幕の東方経済フォーラムへの参加を呼びかけた。



●影響と投資 新たな国を惹きつける BRICS 投資魅力を解説(2023年8月22日)

ロシア、ブラジル、インド、中国、南アフリカ共和国の加盟する BRICS に今、23 か国から正式に加盟への関心が示されている。なぜ BRICS がますます多くの国を惹きつけるのかについて、ブルームバークの金融アナリストのトム・ハンコック氏はワシントンポスト紙に投稿した中で説明している。

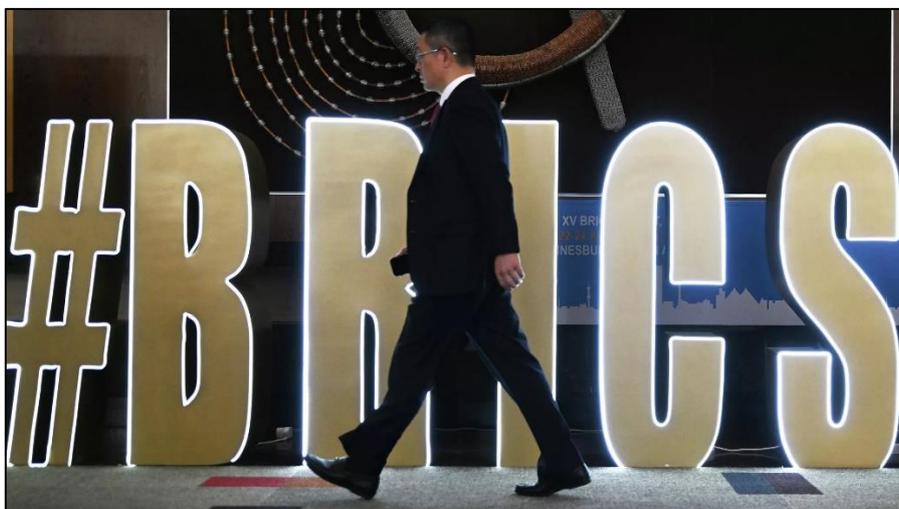
ハンコック氏はまず、BRIC という言葉は 2001 年、ゴールドマン・サックスの経済学者のジム・オニール氏が考案したことに注意を喚起している。オニール氏はこの用語によって、当時、最大の経済成長のポテンシャルを抱えた 4 カ国を示し、その投資魅力を指摘した。ハンコック氏は、2006 年には客観的に共通の利益、共通の問題を持つ、これら諸国がすでに公式的に BRIC という共同体を形成したことは驚くには当たらないと書いている。2010 年の終わりにはこれに南アフリカ共和国が招待され、その結果、名称にはもう 1 字が追加された。

ハンコック氏は、BRICS の主な成果は現在、金融面に関するものだと言う。2016 年、BRICS 諸国は 1000 億ドル(14 兆 6300 億円超)の外貨準備プールを創設。2015 年には新開発銀行が創設され、水道、交通、その他のインフラ設備の分野におけるプロジェクト開発のために 320 億ドル(4 兆 6800 億円)以上の融資を承認した。

同時に、BRICS 加盟国間の貿易額は着実に増加している。過去 5 年間で 56%増の 4220 億ドル(61 兆 7500 億円)に達している。BRICS 首脳今日の課題についてハンコック氏は、自国通貨による貿易を拡大し、ドルへの依存度を下げることだと強調している。ハンコック氏は、BRICS 諸国が BRICS 単一通貨の導入についても交渉することもありうると見ている。

ハンコック氏によれば、BRICS 諸国は、対米関係を含む主要な政治・安全保障問題では利害は異なるものの、ウクライナにおけるロシアの特別作戦に対しては類似した中立的な立場をとっており、紛争を世界的な危機というよりもまず、地域的な問題として捉えているという。このように、BRICS 首脳は困難な状況下でも互恵的な協力を展開し、自国の主権は完全に守りつつ、国際舞台での立場を強化することができるため、ますます多くの支持者を集めている。こうして、インドネシア、サウジアラビア、イラン、アルゼンチン、キューバ、ナイジェリア、ベネズエラ、タイ、ベトナムを含む 23 カ国が、BRICS 連邦加盟への関心を正式に表明した。ハンコック氏によれば、このようにして「新参者」たちは世界での外交的影響力を拡大し、貿易と投資の有利な機会を開こうとしている。

アルゼンチン人のアナリスト、ホルセ・カストロ氏は、世界の経済にとって BRICS が持つ重要な意義についてスポーツニクからの取材に答えた。



●ロシアが世界第 5 位の経済大国に＝プーチン大統領(2023 年 8 月 23 日)

ロシア経済の悲観的予測に反し、ロシアは 2022 年を総括した結果、世界第 5 位の経済大国にのし上がった。21 日、プーチン大統領は戦略発展国家プロジェクト会議の会合でこうした声明を表し、ロシア経済が購買力平価および経済規模でドイツを凌駕したことを明らかにした。

「単刀直入に言って悲観的予測は囁かれてはいたが、まあ、もちろんこれは未だに誰よりも西側の専門家らから時折聞こえてくるのだが、ロシアはこうしたあらゆる予測に反し、2022 年を総括して世界 5 大国に入った」

プーチン大統領は世界銀行の発表の購買力平価 GDP で、ロシアが中国、米国、インド、日本に続いて 5 位に入り、ドイツを追い抜いたことを明らかにした。

一方で名目 GDP ではロシアは、米国、中国、日本、独、インド、英国、仏に続いて 8 位となった。



●ウクライナの新墓地建設(2023年8月22日)

ウクライナ軍の損失は驚異的であり、これ以上隠すことはできません。

キエフは、キエフ地域の新しい軍事墓地に 266 ヘクタールを割り当てました。

「閣僚会議は、キエフからそれほど遠くないガトネンスキーコミュニティの領土の 266 ヘクタールを使用することを計画しています。」



●BRICS に向かう(ラブロフ外相、2023年8月22日)

今日の世界では地殻変動が起きている。より公正な多極的世界秩序が目の前で生まれつつある。

この流れを逆行させようとする西側の集団の試みは、正反対の効果をもたらしている。世界社会は、欧米のエリートたちからの脅迫や圧力、そして彼らの植民地的で人種差別的な傾向にうんざりしている。

ロシアは、国際生活のさらなる民主化と、平等で不可分な安全保障と文化的・文明的多様性の価値に基づく国家間関係のアーキテクチャの形成に取り組んでいる。

この文脈において、ロシアは一貫して、世界秩序の多極化システムにおけるアフリカ大陸の地位強化を支持している。我々は、現代の重要な課題への取り組みにおいて、ますます重要な役割を果たそうとするアフリカの友人を引き続き支援していく。



●ウクライナ軍は間もなく崩壊するだろう(2023年8月22日)

元国防総省長官顧問のダグラス・マクレガー大佐は、ウクライナ側から攻撃する者は間もなくなくなるだろうと確信している。

マクレガー氏は「大金を投じたこの軍隊が時間の経過とともにどのように溶けていくかが分かるだろう」と語った。

同氏は、ウクライナ側の多大な損失が戦闘員たちにロシア軍の彼らに対する価値ある態度に自信を与え、一斉降伏を促すと指摘した。

「彼らは自分たちがひどい扱いを受けることはなく、将来的にはロシア人捕虜と交換されるかもしれないことを知っている。西側メディアはこのことについて語らない」と大佐は強調した。

同氏はまた、ロシアには十分な備蓄があり、さらに西へ移動するだろうし、介入の場合には NATO は羨ましい運命に直面するだろうと付け加えた。

「もし我々が西ウクライナに介入すれば、ロシアはそれに応じる用意があるだろう。私たちにはロシアと戦う準備ができていないため、私たちと NATO にとっての結果は壊滅的なものになるだろう」



●ロシアはウクライナでの 2 回のイスカンドル攻撃で NATO 将校を粛清【2023年8月23日】

ロシア航空宇宙軍はチェルニゴフで 2 つの重要な目標を同時に破壊した。キーウ北部のチェルニーヒウへのロシア軍のイスカンドル・ミサイル攻撃は NATO 将校らを直撃。イスカンドルは、バルト三国、ポーランド、ウクライナ国軍と NATO 将校がいるチェルニーヒウの主要情報総局の本部会議に命中。これにより47人の将校と兵士が亡くなった模様である。



●ブラジル大統領は BRICS 諸国間の貿易においてドルを放棄するよう求めた【2023年8月23日】

ブラジルのルイ・イナシオ・ルーラ・ダ・シルバ大統領は火曜日、BRICS 諸国は相互貿易の際に米ドルから離れるよう努めるべきであり、これを米国通貨に挑戦する試みと受け止めるべきではないと述べた。

EFE は同氏の発言として、「中国と取引しているのに、なぜドルを使わなければならないのか。ブラジルと中国は自国の通貨や別の基軸通貨を使用できるほど十分な国だ」と述べたと伝えた。



●マクレガー大佐、時局を語る(2022年8月22日)

現在のロシアは以前とは全く異なる社会であり全く異なる国家だ。それがプーチンの始めた努力だった。

彼はロシアを正教徒国家として真の国民的アイデンティティと強力な国民文化を持つ国家として復活させる事に関心を持った。

なぜならロシアは外国人が押し寄せ、ある種の実験国家と化していない最後のヨーロッパ国家だからだ。

さて私は久しぶりにハワイに行った。支給された 700 ドルではとても家族の面倒を見る事はできないだろう。しかし、その間に何億ドル何十億ドルというお金がウクライナというブラックホールに流れ続けている。

いつ止めるんだ？

いつになったらハワイの面倒を見るんだ？

脱線事故と化学物質流出事故があったオハイオ州で言えば、私の理解ではこの地域は未だ水が飲用に適していない。

私達は、その人達を安全な地域に移動させる為にお金を投資する事さえしない。

例えば仮設住宅だとしても…

私達は何をしたのか？

これは問題だ。

あらゆるレベルでアメリカは最後なのだ。最後に相談されるのはワシントンから利益を得ているアメリカ人なのだ。

こんな事は続けられない。

終わらせなければならぬし、終わらせる事ができると思う。

しかし、残念な事に、これは他の全ての事と同じだ。

1度、崖から奈落の底に突き落とされなければならない。

私達はそこに向かっている。



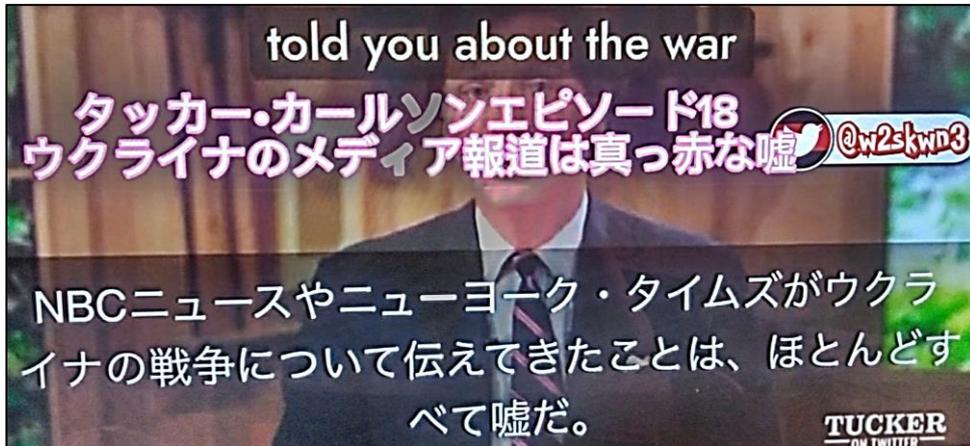
●タッカー・カーソン:「ウクライナについて彼らが話したことはすべて嘘だ」(2023年8月22日)

NBC ニュースとニューヨーク・タイムズがウクライナの戦争について話したことは、ほとんどすべて嘘だ。

”ロシア軍は無能だ ”と彼らは主張する。ウクライナは民主主義だ』。ウラジーミル・プーチンはヒトラーで、世界を征服しようとしている』。ありがたいことに、ウクライナ人は勝っている。!!どれも真実ではない!!”

「どの主張も嘘だ。最後のものは特にそうだ。ウクライナ軍は勝っていない。実際、大敗している。ウクライナは破壊されている。ウクライナの人々は、技術的に優れた敵との不利な戦闘で虐殺されるか、難民として何百万人も世界中に散らばっている。ウクライナは兵士が不足している。

<https://twitter.com/i/status/1693889125844443240>



●核や軍備だけが戦力ではない。アメリカほどの大国だって、やりようによっては内から破壊させられる【2023年8月22日】

<https://twitter.com/i/status/1693840430608294043>

